



九州沖縄支部会 開催報告

鷹野重之（九州産業大学）

2021年2月20日に2020年度九州沖縄支部会が開催された。COVID-19蔓延による影響で、支部会としては初のZoomによるオンライン開催となった。遠隔での参加も可能であったこともあり、他支部からの参加者もあわせて22名の参加者が集まり、活動報告や意見交換が行われ、有益な集まりとすることができた。

今回の九州沖縄支部会では4件の一般発表と1件の招待講演、それにビジネスセッションが行われた。プログラムを表1に示す。

今回の支部会では、国立天文台アルマプロジェクト所属の平松正顕さんを特別講師にお招きし、「暗黒の宇宙に私たちのルーツを探るアルマ望遠鏡」というタイトルでご講演頂いた。ご講演では、ALMA望遠鏡についてや、ミリ波・サブミリ波観測の基礎、そして、ALMA望遠鏡を使った星形成領域の最新の観測結果まで、大変わかりやすくご紹介頂いた。講演後には聴衆からの質問にも詳しくご回答頂き、大変有意義な講演会となった。

一般講演は4件であった。ARを使った惑星に関する学習教材のご紹介（上田さん）、コロナ禍における2020年の鹿児島での天文普及活動について（前田さん）、国際天文学連合天文教育オフィスの活動紹介（鷹野）、そして、ビーチボールを用いた直感的な星座早見のプロトタイプのご紹介（高橋さん）があり、いずれも興味深い発表であり、多くの質問やコメントが寄せられた。

ビジネスセッションでは、支部に関する事務的な相談の他、本支部で幹事を受け持つ2021年度の日本天文教育研究会年会についての相談を行った。詳細は今後報告していく

が、支部の力を結集し、年会を成功させたいと考えている。

来年度の九州沖縄支部会は熊本県での開催を予定している。コロナ禍が収束して、対面で実施できることを切に願っている。九州沖縄支部会は人数こそ少ないものの、参加者各位のアクティビティは高く、支部会でも毎回質の高い活動報告がなされている。聴講だけの方や他支部からの参加もウェルカムであるので、今回ご参加頂けなかった方や他支部の方にも、来年度以降是非ご参加頂ければと思う。

表1 九州支部会プログラム

13:30	開始
13:35	一般講演（1）上田智氏 「高等学校地学教育における先端技術教材」
13:55	一般講演（2）前田利久氏 「2020年、鹿児島県天文協会の天文普及活動」
14:15	一般講演（3）鷹野重之 「IAU/OAE/NAECの活動紹介」
	（休憩）
14:40	特別講演 平松正顕氏 「暗黒の宇宙に私たちのルーツを探るアルマ望遠鏡」
15:30	一般講演（4）高橋徹氏 「鏡像天球儀を用いた星座早見」
	（休憩）
16:00	ビジネスセッション

鷹野重之